

◆令和3年1月～12月事故の状況◆

【事故の特徴】

- ☆事故件数は「**68件**」発生しており、過去5年平均とほぼ同様。
- ☆労働災害が「**42件**」発生しており、過去5年平均に比べ**6件増加**。
- ☆休業4日以上労働災害が「**12件**」発生し、発生率が**29%**となっており、高く推移。

◇現場での安全な施工に向けて、更なる安全管理の徹底を

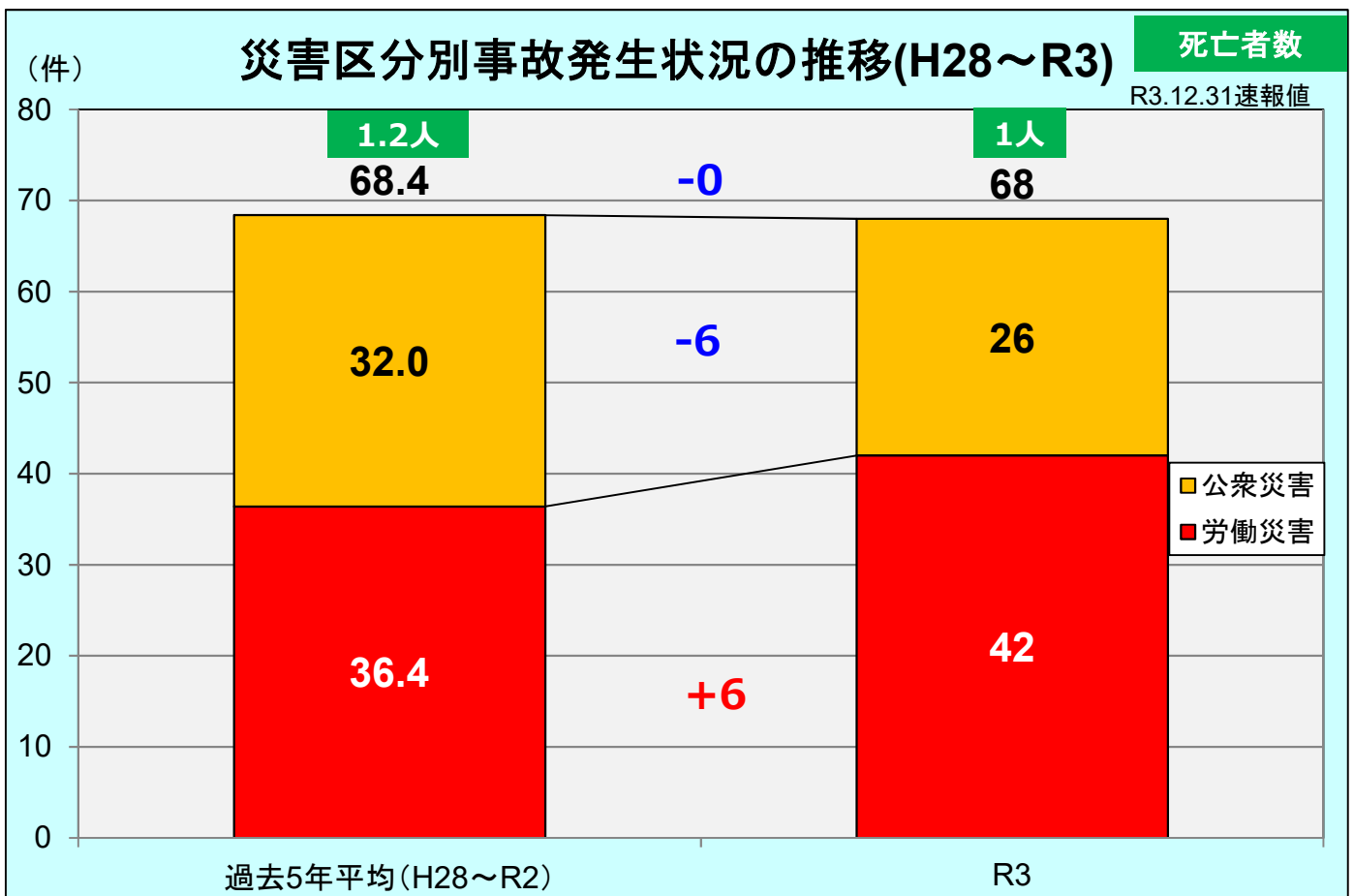
◇引き続き、新型コロナウイルス対策の徹底を

1. 工事事故の発生状況

※使用している数値は速報値であるため、今後変更となる可能性があります。
※北陸地方整備局発注の直轄工事を対象としています。

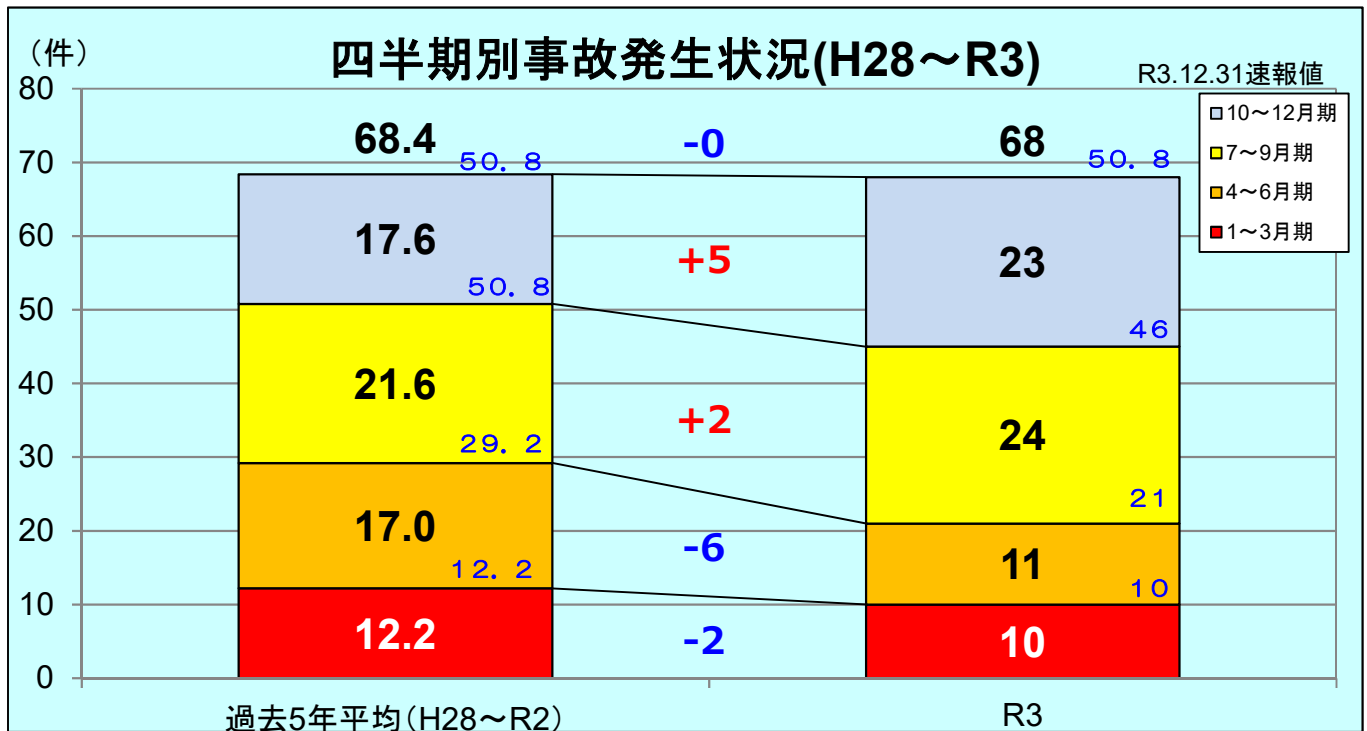
1) 過去5年平均との比較

令和3年（1～12月）の事故件数は68件で過去5年平均とほぼ同様な状況です。労働災害は42件発生しており、過去5年平均と比較して6件程度増加しています。公衆災害は26件発生しており、過去5年平均と比較して6件程度減少しています。



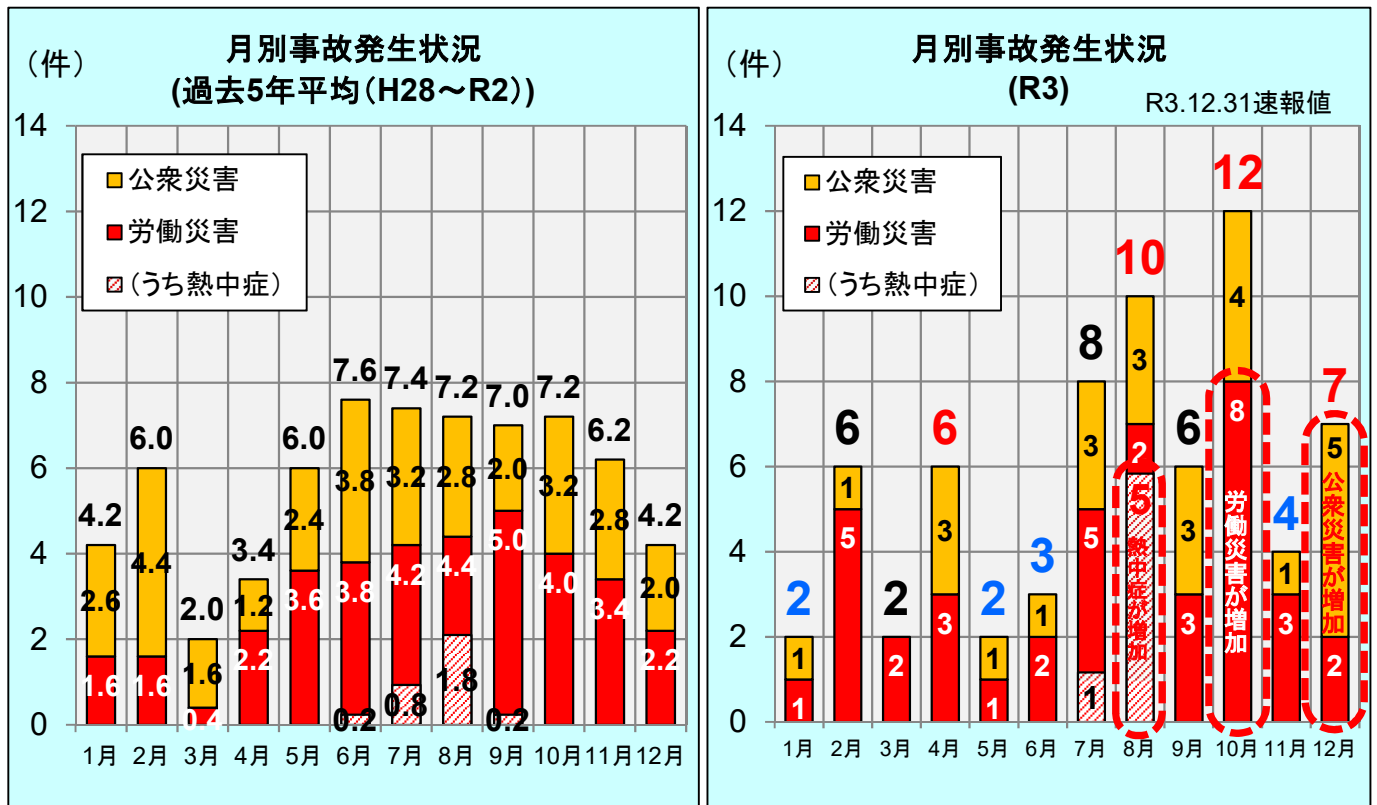
2) 四半期別の事故発生件数

四半期毎の過去5年平均と比較すると、1月～6月までは8件程度減少している状況ですが、7月～12月は7件程度増加しています。



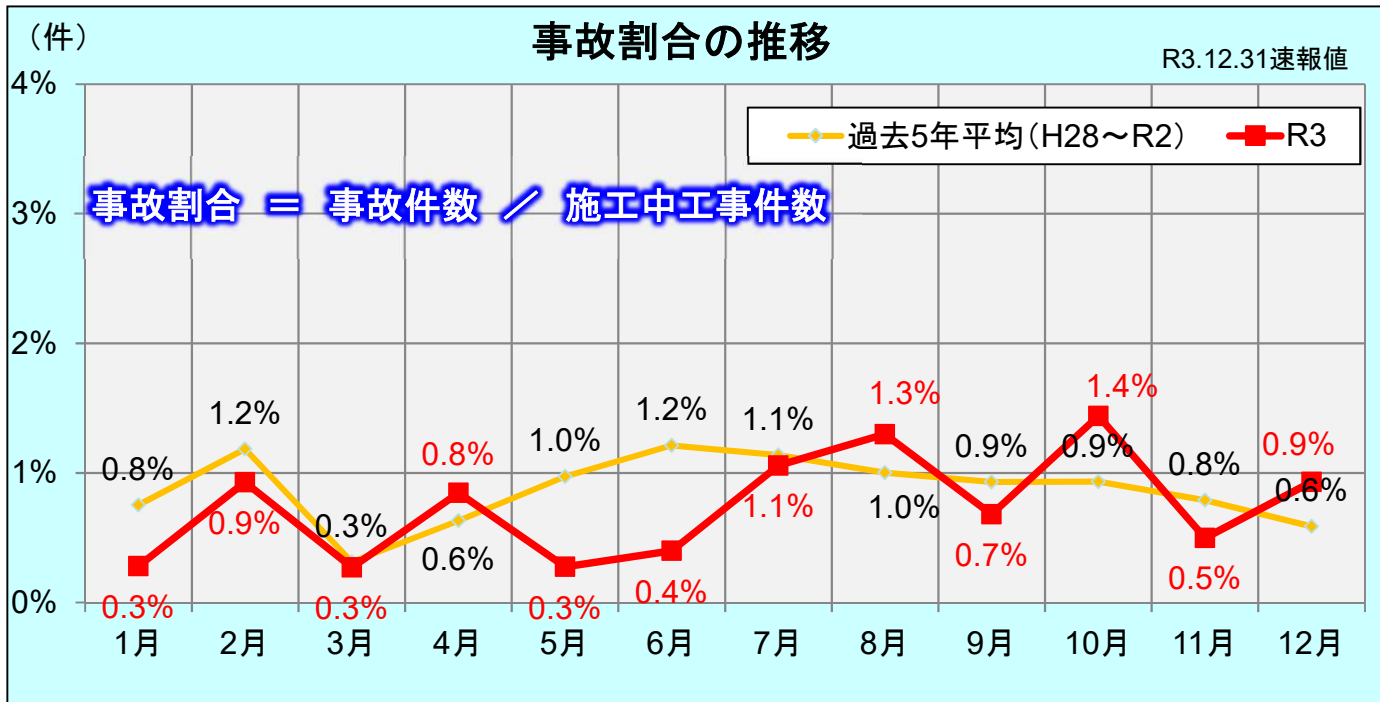
3) 月別の事故発生件数

月別の過去5年平均と比較すると、4月、8月、10月、12月が増加しています。特に8月は熱中症、10月は労働災害、12月は公衆災害が増加しています。



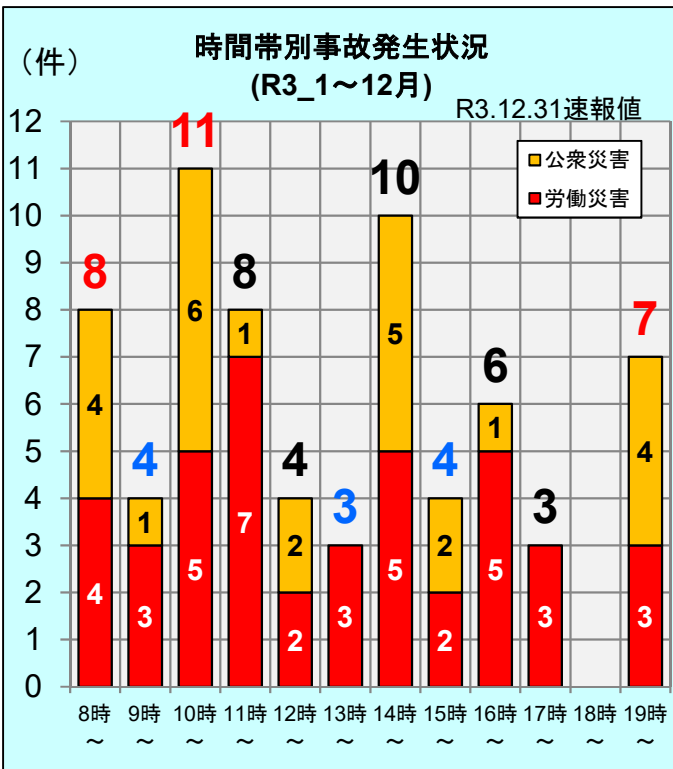
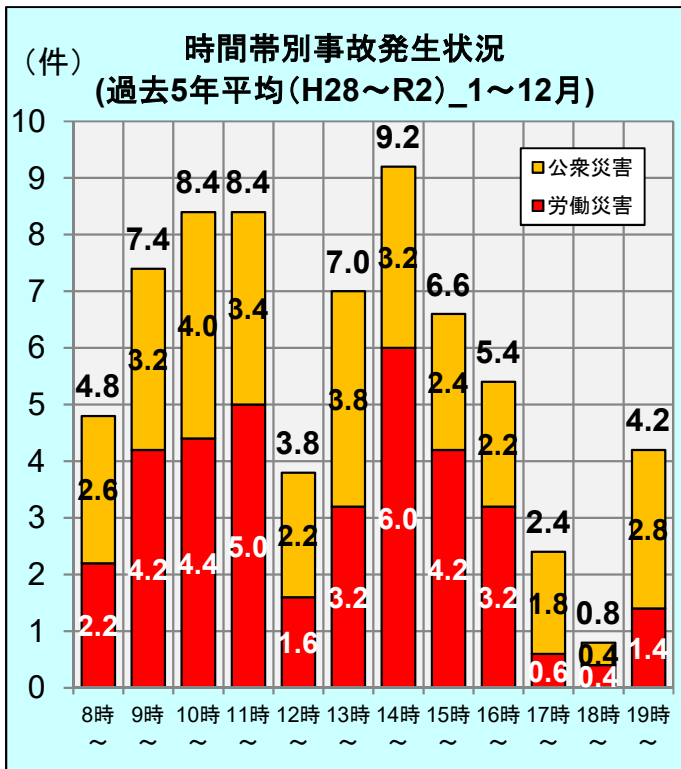
4) 事故発生割合

令和3年（1～12月）の事故発生割合は過去5年平均と比べ、4月、8月、10月、12月が増加しています。



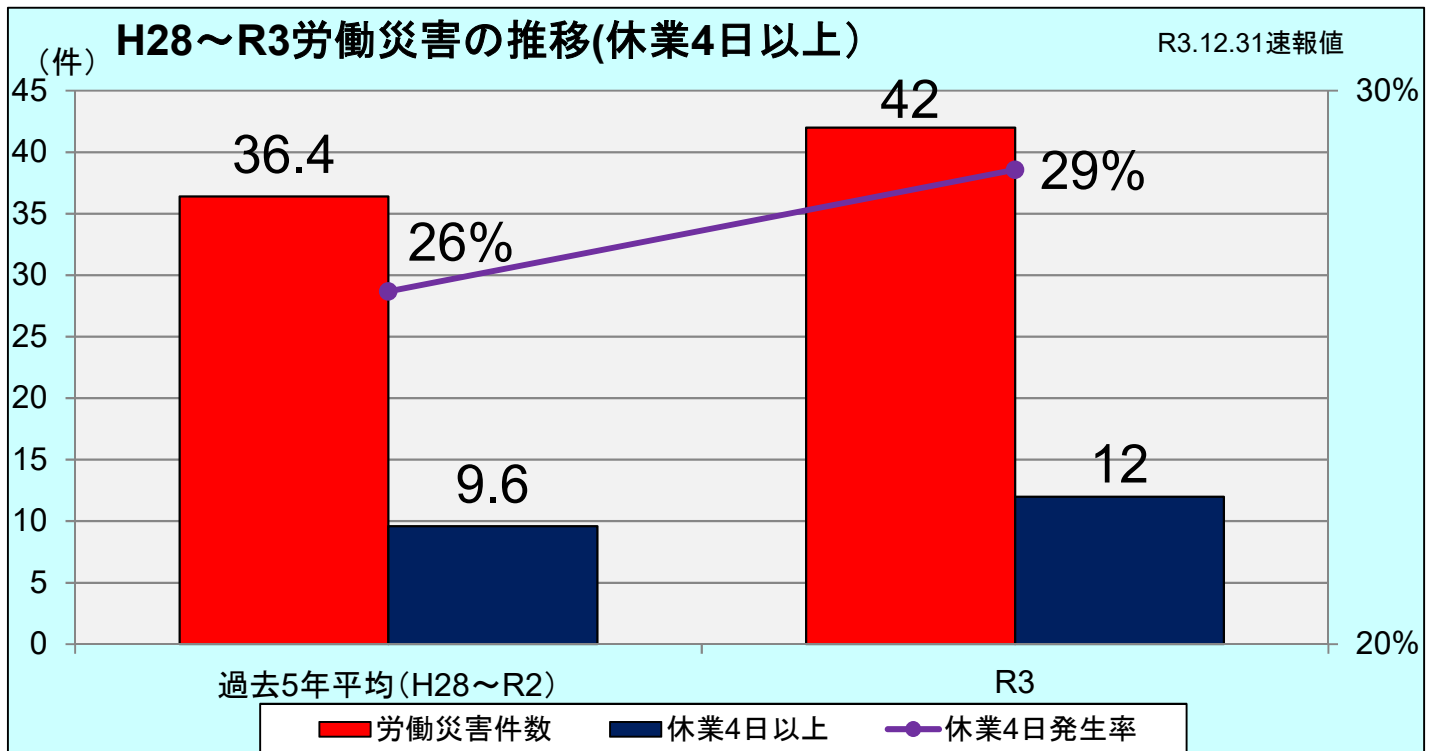
5) 時間帯別事故発生状況

令和3年（1～12月）の時間帯別では過去5年平均に比べ、8時、19時以降が増加しています。また、10時、14時の時間帯は引き続き多くは発生している状況です。作業の開始直後や休憩前後の時間帯、夜間施工は事故発生リスクが高いので特に注意が必要です。



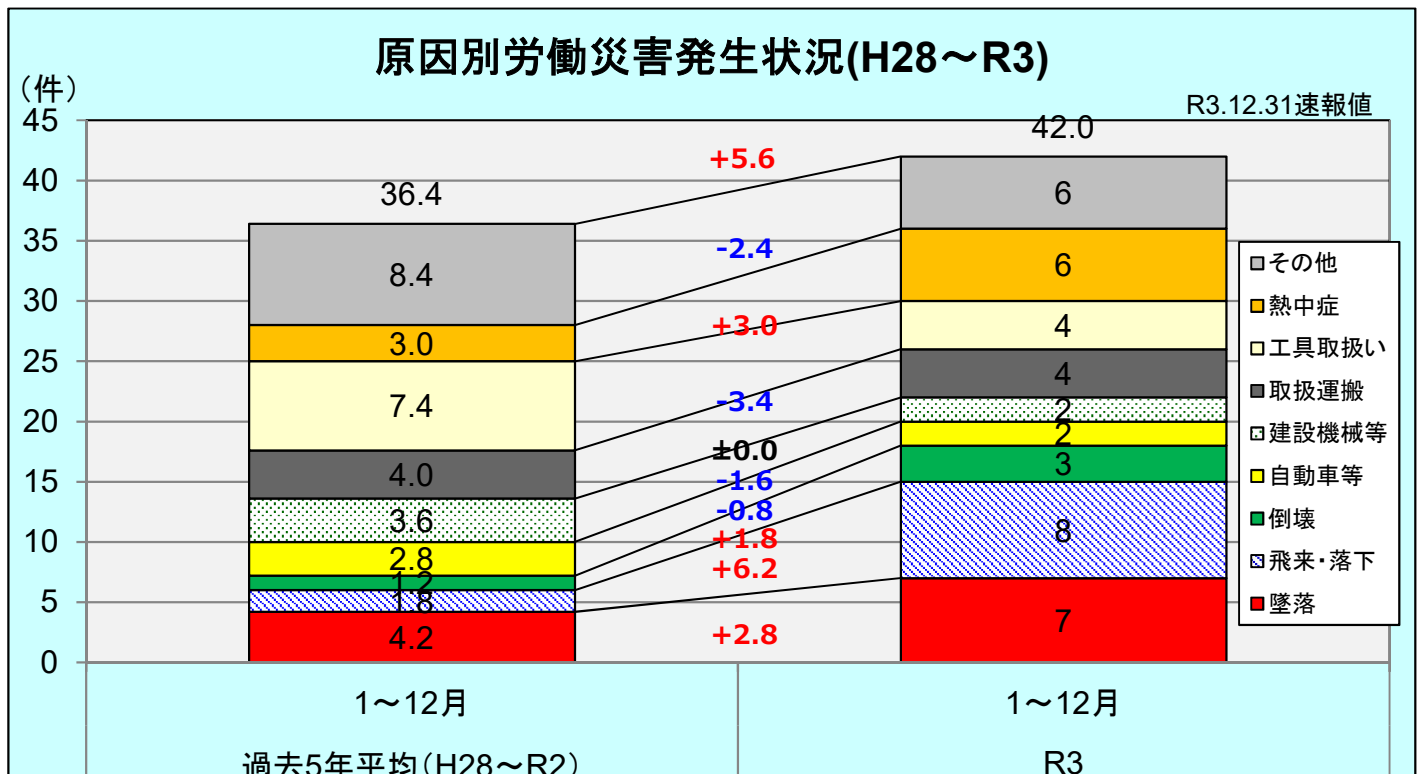
6) 休業4日以上 of 労働災害発生状況

令和3年（1～12月）の労働災害は42件発生しており、うち12件が休業4日以上 of 事故となっています。休業4日以上 of 事故発生率は29%となっており高くなっています。



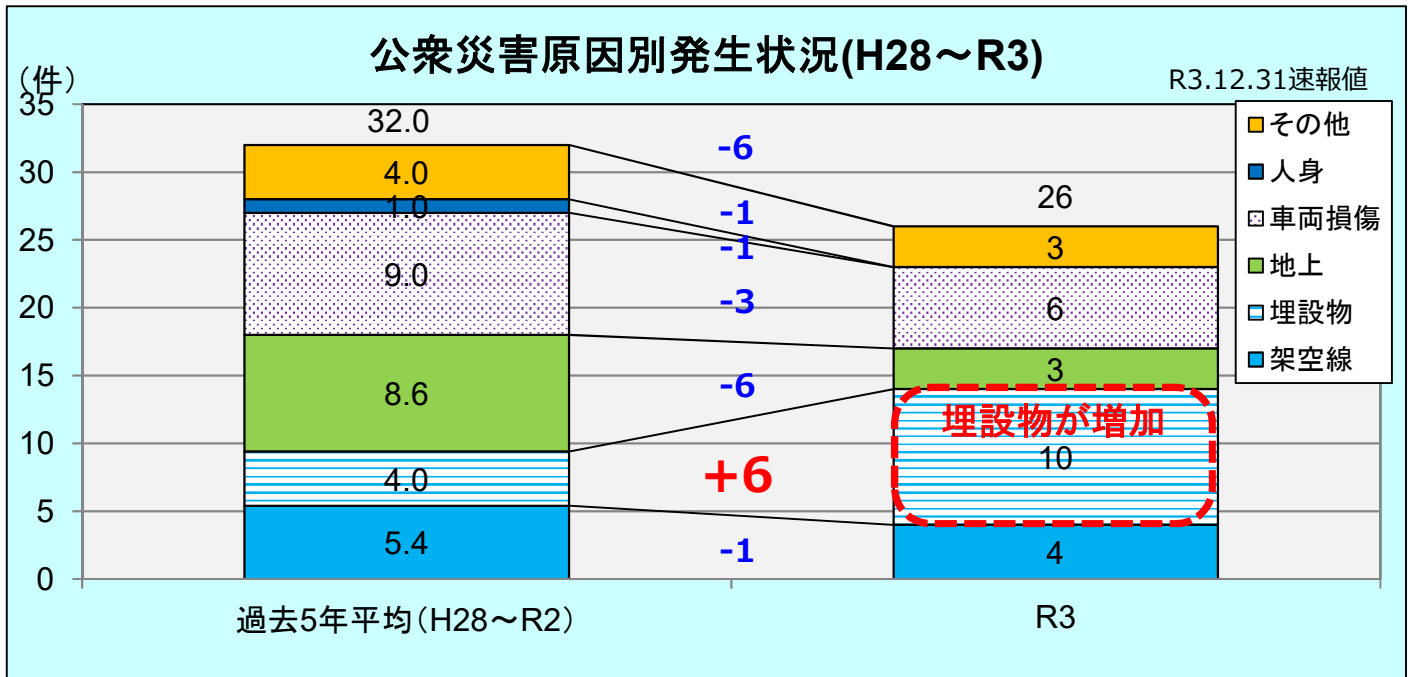
7) 労働災害原因別の発生状況

令和3年（1～12月）の労働災害は42件発生しており、労働災害の原因は、過去5年平均に比べ、墜落、飛来・落下、熱中症が増加しています。



8) 公衆災害の原因別の発生状況

令和3年(1~12月)の公衆災害は26件で過去5年平均と比較すると6件減少しています。公衆災害の原因は、過去5年平均に比べ、埋設物が10件発生しており、6件程度増加しています。



2. 事故発生事例

①バックホウで掘削時にガス管、水道管を損傷(公衆災害)

※事前の確認不足が多く見られるので事前確認の徹底を!

- ①日 時: 令和3年12月6日(月) 8:50頃
- ②工事内容: 道路維持工事
- ③事故内容: 駒止ブロックを設置するためバックホウ掘削したところ、埋設されていたガス管及び水道管(引き込み管)を損傷
- ④被害状況: 水道管(1条)、ガス管(1条)の損傷

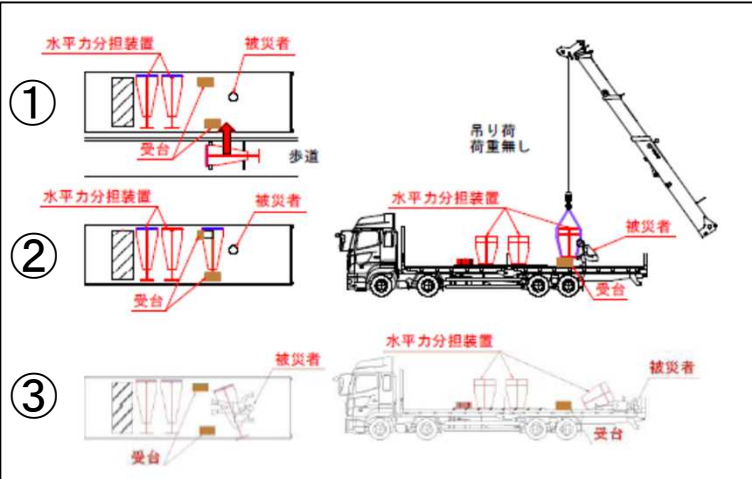


【事故発生原因】

- ・工事着手前に出張所職員とともに深さ1.2mの位置に当該管があることを確認していたが、引き込み管も同様の深さにあるとの思い込みから、事前確認を怠ったため。

②トラック荷台に積上げ後、積荷が倒れ受傷(労働災害)
※重量物の受台設置は適切に！

- ①日 時:令和3年10月18日(月) 11:47頃
 ②工事内容:橋梁耐震補強工事
 ③事故内容:水平力分担構造工のブラケット(重さ1.2t)をラフタークレーンでトラック荷台に積上げた際に、荷台受台が正しい位置に置かれていなかったことから、設置したブラケットが玉掛けを外した後に倒れて、被災者がその下敷きとなり受傷
 ④被害状況:胸椎破裂骨折、腰椎右横突起骨折、肋骨骨折(休業6カ月以上)



事故発生状況

- ①歩道に仮置きしたブラケットをクレーンでトラック荷台の受台へ移動
 ②受台位置が悪いまま吊り荷の玉掛を外した
 ③玉掛を外した後にブラケットが転倒し、被災者が下敷きになった



事故状況写真

【事故発生原因】

- ・計画の遅れから当初計画時点から作業手順が変わった際に作業手順書を修正していなかった
- ・合図者を配置しないままクレーン玉掛・玉掛を外す作業を実施しており、法令に違反しないまでも施工過程に不備・不適切があった。
- ・受台を適切に配置しておらず、作業工具等の使用が不適切であった。

③工事用道路をダンプで走行中に川へ転落(労働災害)
※一歩間違えれば重大事故、安全運転を！

- ①日 時:令和3年10月14日(水) 10:15頃
 ②工事内容:護岸補修工事
 ③事故内容:工事用道路の補修のため4tダンプで運搬していたところ、路肩に寄りすぎて川へ転落
 ④被害状況:右耳垂切創、右肩打撲など(休業0日)



事故発生時の状況(横断面図)



事故発生時の状況写真

【事故発生原因】

- ・路肩にトラロープなど路肩表示を行わないなど、現場周辺への安全管理対策が不適切であった。
- ・普通免許証では運転ができない4tダンプを運転するなど、安全教育等の実施状況が不適切であった。

今後このような事故を起こさないために 一事例③を受けてー

◇現場内も道路交通法を遵守

- この事故は普通自動車免許で運転できない4tダンプを運転し、川へ転落したものです。
- 現場内運搬であり、道路交通法の適用外ではありますが、重大事故につながるものです。
- 公共事業に携わるものとして道路交通法に遵守する必要があります。

◇もう一度、運転に必要な「免許・資格」を確認

- 建設機械運転に必要な資格・免許を必ず確認しましょう。(労働安全規則関係)
- 特に若い人の普通自動車免許は運転できる車両区分に注意しましょう。(道路交通法)

<参考> 免許取得時期と運転可能な車両区分

現 行	平成29年3月12日施行		
車両総重量 3.5t未満	車両総重量 7.5t未満	車両総重量 11t未満	車両総重量 11t以上
普通自動車 普通免許 18歳以上	準中型自動車 準中型免許 18歳以上	中型自動車 中型免許 20歳以上 <small>普通免許保有 2年以上</small>	大型自動車 大型免許 18歳以上
最大積載量 2t未満	最大積載量 4.5t未満	最大積載量 6.5t未満	最大積載量 6.5t以上

免許取得時期	免許の種類	車両総重量	最大積載量
平成19年 6月1日まで	普通免許	8t未満	5t未満
	大型	8t以上	5t以上
平成19年 6月2日 ～ 平成29年 3月11日まで	普通	5t未満	3t未満
	中型	5t以上11t未満	3t以上6.5t未満
	大型	11t以上	6.5t以上
平成29年 3月12日以降	普通	3.5t未満	2t未満
	準中型	3.5t以上7.5t未満	2t以上4.5t未満
	中型	7.5t以上11t未満	4.5t以上6.5t未満
	大型	11t以上	6.5t以上

Check

- ✓ 免許取得時期により**運転可能な車両区分**が異なりますので、現場では必ず免許証を確認・周知をしましょう。
- ✓ **無免許者への指示防止**のためKYミーティング等で確認・共有。

3. その他

北陸地方 3か月予報(2月から4月までの天候見通し) [R4.1.25新潟地方气象台 発表]

<向こう3か月の気温、降水量の各階級の確率(%)>

<予想される向こう3か月の天候>
 向こう3か月の出現の可能性が最も大きい天候と、特徴のある気温、降水量等の確率は以下の通りです。

2月 平年と同様に曇りや雪または雨の日が多いでしょう。

3月 天気は数日の周期で変わりますが、平年に比べ曇りや雨または雪の日が少ないでしょう。
 気温は、平年並または高い確率ともに40%です。

4月 天気は数日の周期で変わってしょう。

気温 2月~4月(3か月)				降水量 2月~4月(3か月)			
地域	低い(%)	平年並(%)	高い(%)	地域	少ない(%)	平年並(%)	多い(%)
北陸地方	30	30	40	北陸地方	30	40	30

気温 2月(1か月)				降水量 2月(1か月)			
地域	低い(%)	平年並(%)	高い(%)	地域	少ない(%)	平年並(%)	多い(%)
北陸地方	40	30	30	北陸地方	30	30	40

気温 3月(1か月)				降水量 3月(1か月)			
地域	低い(%)	平年並(%)	高い(%)	地域	少ない(%)	平年並(%)	多い(%)
北陸地方	20	40	40	北陸地方	40	30	30


気温 4月(1か月)				降水量 4月(1か月)			
地域	低い(%)	平年並(%)	高い(%)	地域	少ない(%)	平年並(%)	多い(%)
北陸地方	30	30	40	北陸地方	30	40	30

建設工事事故データベース (SAS)への登録をお願いします。

・地方整備局、都道府県、政令指定都市、機構等が発注する公共工事で発生した一定規模以上の事故の事故報告データの 集合体です。収集されたデータは、建設工事事故対策検討委員会や発注者において、工事事故防止に向けた対策の検討・立案に利用しています。

・**休業4日以上**の建設工事事故について、受注者・発注者は必ずインターネットを利用して登録(入力)してください。

・「事故発生状況調書」は、技術管理課検査係で登録し、受注者への事故番号、パスワードを主任監督員へ通知します。



SAS
Safety Analysis System

ホームページ: <https://sas.hrr.mlit.go.jp>

・登録対象となる事故

分類	事故の定義
労働災害	工事区域において工事関係作業が起因して、工事関係者が死亡あるいは負傷した事故。 資機材・工事製品輸送作業が起因して工事関係者が死亡あるいは負傷した事故。 なお、ここでいう負傷とは、休業4日以上を負傷をいう。
もらい事故	工事区域において当該関係者以外の第三者が起因して工事関係者が死亡又は負傷した事故。 なお、ここでいう負傷とは、休業4日以上を負傷をいう。
負傷公衆災害	工事区域における工事関係作業及び輸送作業が起因して当該工事関係者以外の第三者が死傷した事故。 なお、ここでいう第三者の負傷とは休業4日以上もしくはそれに相当する負傷をいう。
物損公衆災害	工事区域における工事関係作業及び輸送作業が起因して第三者の資産に損害を与えた事故にあって、第三者の死傷に繋がる可能性の高かった事故。

※ 工事区域: 工事作業現場内及び隣接区域

【問合せ先】北陸地方整備局企画部 技術検査官 山崎 TEL 025-370-6702 FAX 025-280-8861